

第6学年4組 音楽科学習指導案

平成22年6月1日(火) 第3校時

授業者 教諭

場 所 第2音楽室

1 題材名 「曲想を味わおう」

教材 「きみのかわりはいないから」 新沢としひこ 作詞 氏家 晋也 作曲

2 題材の目標

- ・曲想を感じ取って、表情豊かに歌おうとしている。(音楽への関心・意欲・態度)
- ・歌詞や旋律の動きから曲想を感じ取って、気持ちをこめた歌い方を工夫している。(音楽的な感受や表現の工夫)
- ・語感や旋律の特徴を生かして歌うことができる。(表現の技能)
- ・旋律の特徴や曲想の変化を感じ取って聴くことができる。(鑑賞の能力)

3 題材について

本題材では、歌詞が表す気分や情景を想像したり、曲想を味わったりしながら、やわらかく響く声で表情豊かに歌う活動を進める。「きみのかわりはいないから」は、喧嘩の後から仲直りまでの心情が描かれた二部合唱であり、旋律の動きや強弱、速度や調の変化などの様々な音楽的要素が一体となって曲想が醸し出される、ドラマチックな曲である。曲想を感じ取って表現する能力は、表現の質を高めていくうえで欠かせないものである。そこで、子どもたちが曲想を感じ取るよりどころとして、本題材では、「歌詞の内容」と「曲のまとまりや旋律の動き」に焦点を当てて学習を進める。歌詞の内容から心の動きを感じ取って歌い方に生かしたり、曲のまとまりや旋律の動きが作り出す雰囲気を感じ取って表現したりさせたい。

4 児童について

「きみのかわりはいないから」は連合音楽会で発表する曲である。本学級はソプラノを担当し、本番に向けて意欲的に学習に取り組んでおり、きれいな声を意識しながら歌う子が増えてきている。その中で、支えが不十分なことによる音程の不正確さや、低音部の地声、高音部の声量不足などの課題がある。また、今回のような長く曲想の変化に富んだ合唱曲は初めての経験であり、歌い方を考える活動にも慣れていない。そこで、「音楽の仕組み」を理解したり、「音楽を特徴付けている要素」を感じ取ったりする、音楽が「わかる」ための知識を身に付ける指導と、「できる」ための技能を中心とした指導の両者を、段階を踏んで行う中で、曲想に合った表現を考えながら歌うことができるようにしていきたい。そして、この題材での学びを基礎として、今後学習を積み重ねることにより、音楽的な知識や技能を身に付け、児童自らがそれらを活用しながら主体的に音楽に関わり表現するとともに、中学校での学習にも生かされることを期待している。

5 指導について

本時では、新学習指導要領で新設された「共通事項」の「音楽を特徴付けている要素」のうち、作曲家が楽譜上に記した「旋律の動き」や「強弱」を『作曲家のわざ』と名付けて着目し、歌い方を考えさせていくようにしたい。その際、電子黒板に保存しておいた前時の楽譜を提示して振り返ったり、新たに書き込みをしたりすることにより、学習内容の焦点化や定着を図るようにする。また、歌詞の内容から心情を感じ取らせたり、声の出し方や表情も意識させたりしながら、やわらかく響きのある声で歌うことができるよう指導・支援していきたい。歌い方を考える学習では、自分の思いをもったり伝え合ったりする活動に時間を割きがちになる。十分な歌唱時間を確保し、仲間と心と声を合わせて歌う喜びを十分味わわせることを念頭に置いて、活動を進めたい。

6 指導計画（9時間配当） 本時5／9

時	学習内容	ねらい	関	感	表	鑑	評価規準
1 ～ 3	自分のパートの音程をつかむ。	旋律の動きを感じながら、自分のパートを歌うことができる。	○		◎	○	(表) 曲の感じや旋律の動きをとらえて歌うことができる。
4 ～ 9	曲想に合った歌い方を考えて合唱する。	曲想を味わいながら、歌い方を考えて表現することができる。	○	◎	◎	○	(感) 歌詞の内容や旋律の動きから感じ取った曲想を生かして歌うことができる。

7 本時の目標

- ・曲想を味わいながら、歌い方を考えて表現することができる。

8 準備物

電子黒板，パソコン，ホワイトボード，掲示用資料

9 本時の学習過程

学習活動	支援（・）と評価（☆）
○「きみのかわりはいないから」を歌う。	・リズムや音程を確かめながら歌うようにさせる。
○本時のめあてを確認する。	
『作曲家のわざ』を見つけて歌おう	
○前時の学習を振り返る。	・電子黒板に保存しておいた前時の楽譜を提示して振り返ったり，新たに書き込みをしたりすることにより，学習内容の焦点化や定着を図るようになる。
○『作曲家のわざ』を見つけて，歌い方を考える。	・作曲家が楽譜上に記した「旋律の動き」や「強弱」を『作曲家のわざ』と名付けて着目し，歌い方を考えさせていく。 ・歌詞の内容から心情を感じ取らせたり，声の出し方や表情を意識させたりして，やわらかく響きのある声で歌えるようにする。
○考えた歌い方に気を付けながら歌う。	☆曲想を味わいながら，意欲的に歌っているか。 (活動の様子を観察)
	☆旋律の特徴や動きから感じ取った曲想を生かして歌っているか。 (発言・演奏の聴取)
○今日の学習の振り返りをする。	・今日の学習で「わかったこと」「できるようになったこと」を振り返らせる。

10 授業の観点

- ・電子黒板の活用は，学習内容の焦点化や定着に効果的であったか。